２０２５年４月２２日発行

村尾光子の

下野(しもつけ)市議会報告

（第78号）



連絡先：栃木県下野市祇園５-11-3
TEL&FAX ： 0285-44-5418
E-mail ： muraomit@nifty.com

令和7年第1回定例会(2月21日～3月19日)の報告です。

～もくじ～

《審議事項》

○**報告**（2件）・道路除草作業中の自動車損傷への損害賠償

○**人事案**（4件）
・人権擁護委員候補者の推薦（黒川栄子氏・伊澤淑子氏の２名）・教育委員会委員の任命（青木正徳氏）・公平委員会委員の選任（五月女智史氏）

○**R6年度会計補正予算**（7件）
・一般会計（第８号、第９号）・国保会計　・介護保険　・石橋駅周辺区画整理　・仁良川地区区画整理　・水道事業

○**R7年度各会計予算**（8件）
・一般会計　・国保会計　・後期高齢者医療・介護保険会計　・区画整理事業（2件、石橋駅周辺・仁良川地区）・水道事業　・下水道事業

○**条例制定**（2件）
・刑法等を一部改正する法律施行に伴う関係条例を改正する条例　・市税条例等の一部改正する条例

○**条例改正**（12件）
・議員報酬等、市長等給与、職員給与等、会計年度任用職員給与等（4件）・職員の勤務時間・休日及び休暇　・消防団　・地域公共交通会議・空家等対策協議会設置条例　・家庭的保育事業等の設備等条例　・地域包括支援センターの運営等基準　・手数料条例　・移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置基準　・水道事業布設工事監督者及び水道技術者の資格

○**条例廃止**（1件）
・新型コロナウイルス感染症対策資金借入金利子補給基金

○**その他**（2件）　・土地の取得　・市道路線認定

【追加議案】

○**条例改正**（1件）
・土砂等埋立て等による土壌汚染・災害発生防止条例

○**発議**（議員提案3件）
・市議会の個人情報保護に関する条例（2件）
・有機フッ素化合物による地下水汚染対応を求める意見書

■**会派代表質問：3議員、一般質問：7議員が質しました**

うららかな春、気分が伸びやかになりますね。
皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
物価高騰はいつ収束するのでしょうか？日々の生活が、こんなにも不安に追い込まれるとは…。さらに、アメリカの相互関税が追い打ちをかけるとは…。
国内政治ばかりではなく、外交や世界情勢にも注目しなければなりませんね。

このところ、何度か東京大学大学院・バリアフリー教育開発研究センター主催の研究会（Zoom）に参加した。障がいを持つ当事者・家族の声や、インクルーシブ教育の実践者の話を聞くことができた。先進的な「学びの多様化学校」の取組には目を見張る。これが“特別”な学校ではなく“普通”の学校であったら、皆が意欲的に真摯に学ぶようになると思う。波及効果を期待したい。

《会派下野市民派クラブ主催》

市民派カフェ

ー 議会報告＆意見交換会 ー



とき：Ｒ７年５月１１日（日）
午後１時３０分～３時３０分
ところ：グリーンタウンコミュニティセンター　会議室
報告者：鈴木一司・石川 浩 ・加藤好雄・村尾光子の４議員

どなたもご自由におでかけください！（出入り自由）

令和７年第２回定例会は6月4日（水）～19日（木）、また第1回臨時議会が5月21日（水）に予定されています。

■Ｒ７年度 一般会計当初予算額は292億6千万円 ― 本市発足以来最大の予算規模 ―

前年度比17億1千万円(6.2%)の増

《市長予算編成方針》

R7 年度は第二次総合計画(2016(H28)年度策定)の最終年度になり、市制施行 20 周年、ドイツ・ディーツヘルツタールとの姉妹都市締結 50 周年を迎える。社会経済状況の変化、市民ニーズを的確に捉え、今後も行政サービスを安定的に提供できるよう健全財政を維持しながら、より一層住みよいまちへ発展するための予算編成とした。

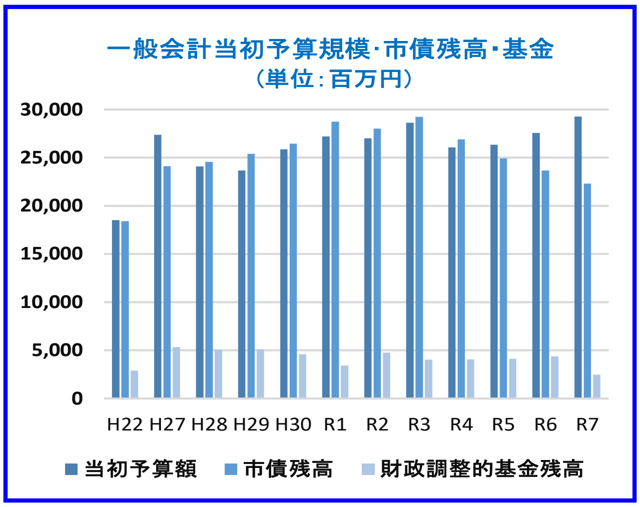
現在から未来へつなぎ、人と人、人と企業、行政と行政などがつながる『**下野市 つなぐつながるまちづくり**』予算として編成 した。

《主な新規事業》 (1 万円未満切り捨て)

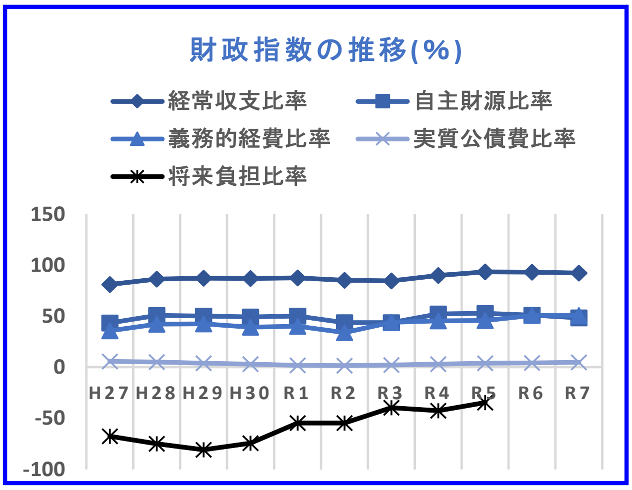
○地域こども食堂運営費助成事業：67 万円
　地域こども食堂を運営する団体に対して補助金交付
○5歳児集団健康診査(乳幼児健康診査事業)：161 万円
　新たに、5 歳児を対象に、集団生活における発達課題や特性ある児を早期発見し、就学に向けて円滑な支援を行うため集団健診を実施
○校内教育支援センター事業：205 万円
　市内 4 校に設置されている校内教育支援センターに専任の指導員 2 名配置。1 人 2 校担当、3 時間／週勤務
○第2期文化財保存活用地域計画策定事業：430万円
○公園照明灯LED一括更新事業：5672 万円
○道路照明灯一括LED更新事業：8567 万円
○市制施行20周年記念事業：1681 万円
　式典は R8.3.11 、自治医大講堂にて開催予定。式典ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ及びﾒﾓﾘｱﾙｿﾝｸﾞ•ｷｬﾗｸﾀｰ製作委託費 1276 万円
○姉妹都市締結50周年記念事業：407 万円
○庁舎学習スペース整備：629 万円
　庁舎1階市民ﾛﾋﾞｰに学生等を対象として整備、主に警備費

《重点プロジェクト事業》抜粋 (単位:万円)

･がん対策事業: 1 億 3841 万円
（がんの早期発見、早期治療を目的とした各種がん検診実施)
･地域子ども･子育て支援: 5 億 8934 万円
（病児･病後児保育事業 1 億 2333 、特別保育支援事業 1 億 4084 、学童保育事業所運営費補助金交付事業 6996 、しもつけっ子応援プロジェクト 1715 ）
･東の飛鳥ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄによる文化財の総合的な活用: 2712 万円
（推進事業:文化財解説の動画制作･ｱﾌﾟﾘ公開 440
整備事業:下野薬師寺跡南東部(指定地外、小公園用地)及び御鷲山古墳の土地購入他)
･商店街賑わいの再生: 6 億 1614 万円
（制度融資事業 5 億 1212 、工場誘致奨励金･共通商品券発行他 1 億 0401)
･産業団地整備の推進: 8509 万円
（市道 8370 号線整備 4708 、新産業団地整備推進 3790)
･スマート IC 整備事業: 1 億 6100 万円
･土地区画整理事業の推進: 2 億 9140 万円 特別会計へ操出
（石橋駅周辺 5554、仁良川地区 2 億 3563)
･男女共同参画の推進: 422 万円
･ICT等の活用: 4 億 6920 万円
･市民活動センター管理運営事業: 2209 万円
･通学路安全対策の推進: 2307 万円



※財政調整的基金残高：財政調整基金＋減債基金
※市債残高と基金残高は各年度末残高額(R6 、R7 は見込額)
※他に公営企業債は 86 億 8273 万円(R7 年度末見込み)



R6 、R7 年度は予算段階の見込数値

《Ｒ７年度一般会計歳入》

【主な歳入】 市税は 8280 万円の増収見込み

(単位:万円)	R7 年度	前年度との比較
市税	98 億 8440	8280
分担金･負担金	9376	△ 4248
使用料･手数料	2 億 0396	△ 104
基金･他会計繰入金	27 億 7736	4685
諸収入	6 億 5376	991
自主財源小計	141億1737	9935
地方譲与税	2 億 2707	△ 581
地方消費税交付金	15 億 0000	△ 1000
地方特例交付金	5000	△ 2 億 5000
地方交付税	42 億 5000	3 億 0000
国庫支出金	48 億 9079	6 億 1576
県支出金	21 億 5391	7359
市債	16 億 1100	7 億 4660
依存財源小計	150億8623	16 億 1064

＊自主財源の歳入に占める割合は 48.4 ％(R6:51.1 ％)

《その他、注目事業》　（1 万円未満切り捨て）

○電子契約システム導入支援業務　99 万円

工事請負、ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ、役務に関しては電子入札システムを活用しているが、契約に関しても電子化を進める

○自治医科大学連携事業　300 万円

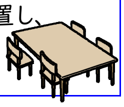
連携協定に基づき、災害に対応できる人材育成等を目的とした講座への支援寄附金

○電話全通話録音装置導入　68 万円

市民サービス向上、カスタマーハラスメント対策等のため、電話に録音機能を導入する。

○庁舎学習スペース整備　629 万円

市役所 1 階の市民ロビーに学生等を対象とした学習スペースを整備する。当面は開庁時間内に試行的に設置し、状況により、17:00 ～ 21:00 に利用可とする。受付・夜間警備委託費 580 万円。



○グリーンタウンコミュニティｾﾝﾀｰ修繕事業　6027 万円

R6 年度に屋根の塗装剥離の修繕を予定していたが、外壁も劣化が進んでいるので、足場を掛ける都合上、同時期に修繕する。軒天からアスベストが検出されたので封じ込め工法で施工する。工期は 5 か月程度。

○第三次総合計画策定事業　1377 万円

R6 、7 年度で策定。基本構想 R8 ～ 17 年度、前期基本計画 R8 ～ 12 年度

○市道1-9号線整備事業　7700 万円

市道 1 − 9 号線(通称上三川高校通り)を南に都市計画道路 3 − 4 − 4 号線(国分寺運動公園から東へ向かう道路)まで延伸するため、薬師寺・柴土地改良区事業での創設換地を土地開発基金を活用して先行取得する。県道としての整備を要望する。
また、この他に既設の 1 − 9 号線は大規模舗装修繕を実施。

○道の駅しもつけ修繕・拡張事業　9271 万円

利便性や集客率の向上を目指し、整備計画を策定する。厨房施設改修、漬物加工所改修、拡張事業に係る土地購入。

○教育・保育施設型委託事業　25 億 0802 万円

私立教育・保育施設への施設型給付費、委託料の交付。教育・保育の給付認定を受けた児童の保育事業利用について、施設に対する一本化した財政支援を行い、保育施設不足の解消と待機児童の減少を図る。

○新産業団地整備推進事業　3790 万円

しもつけ産業団地整備事業完了により、新たな産業団地整備を図り、雇用創出、地場産業活性化、税収増を図る。測量・土地評価・都市計画決定図書作成を業務委託。

○水田貯留機能向上活動支援事業　242 万円

環境保全会への田んぼダム対応補助金、五千石農村環境保全会 100 箇所

○下水道事業会計負担金　8 億円

下水道事業会計への補助金及び負担金

○緑小学校トイレ改修事業　7059 万円

校舎トイレの洋式化・ドライ化に改修。
R7 年度　北校舎、R8 年度　南校舎の改修工事実施、

○下野薬師寺跡整備事業　9424 万円

金堂跡基壇整備工事等の実施設計、作業用道路整備、下野薬師寺跡南東部の史跡地を公有化

○下野薬師寺いにしえの道整備事業　3350 万円

薬師寺歴史館、薬師寺、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートの市道 4101 、4100 、4131 、7009 号線の安全な通行幅員確保による周遊空間の創出及び歴史的情緒が体感できるように、道路の美装化による修景を進める。

《村尾総括質疑から》

●長期財政健全化計画

Q R7 年度の当初予算規模は 292 億 6 千万円と過去最大規模とのこと。一方、R3 年度に策定した第 4 次長期財政健全化計画では R7 年度の予算規模は 243 億 4600 万円とある。　実態と乖離している長期財政健全化計画の見直しの予定はあるのか。

A 物価や燃料費の高騰による影響が大きい。R7 年度は計画の中間年にあたるので、計画を見直す。

●地域おこし協力隊事業

Q 補正予算での事業費 2536 千円減額の理由と今後のこの事業への取り組み方針を伺う。

A　R5 年度は地域おこし協力隊員は 2 名在籍していたが、R6 年 3 月末で 2 名が退職した。R6 年度は不用額となったため減額した。
この事業では H30 年度から隊員 5 名を採用し、うち 2 名が市内に定住している。現在は採用の計画はないが、必要とする事業ができたら募集する。

《R7年度特別会計予算規模》　（単位:万円）

	R7 年度	R6 年度
国民健康保険	52 億 5327	46 億 0449
後期高齢者医療	9 億 3881	8 億 3006
介護保険	46 億 5095	46 億 4586
石橋駅周辺土地区画整理	5554	879
仁良川地区土地区画整理	3 億 3211	2 億 4777
水道事業	17 億 4433	18 億 1652
下水道事業	34 億 9449	39 億 2679

＊公営企業会計である水道事業・下水道事業会計の予算規模は、それぞれ収益的支出と資本的支出の合計額

《一般会計から他会計への繰出金》 15 億 3032 万円

○国民健康保険	3 億 5653 万円
○後期高齢者医療	1 億 4366 万円
○介護保険	7 億 3704 万円
○仁良川地区区画整理	2 億 3563 万円
○石橋駅周辺区画整理	5554 万円
○土地開発基金	190 万円

＊R 7 年度は、一般会計へ介護保険会計からの操出金 2616 万円がある。重層的支援体制整備事業に充てる。

★御鷲山（おわしやま）古墳発掘調査説明会に参加

（3/20、下野薬師寺跡北側）



盗掘を受けているが、凝灰岩切石で作られた石室が残っている。石室開口部は牛舎と隣り合わせ！？どのように整備するのか、大きな課題。

調査のため樹木・竹伐採後、前方後円の墳丘が明確になった。6世紀後半の築造らしい。



■ R6 年度一般会計補正予算（第 8、9 号）
2 件の補正後の予算総額は 314 億 0332 万円に

《第 8 号》補正額：2 億 7602 万円の増額

昨年 12 月 17 日、国会では物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1 兆 980 億円が計上された R6 年度補正予算が成立した。本市議会では速やかに執行できるよう、定例会初日に議決、可決した。

【歳入】〇国庫支出金　　2 億 7302 万円
〇財政調整基金繰入金　　300 万円

【歳出】

〇 R6 年度住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業　　1 億 4940 万円

システム改修･通信費等事務費 340 、
支給対象：R6.12.13（基準日）において、下野市に住民登録があり、世帯全員の R6 年度分の個人住民税が非課税である世帯の世帯主。見込み数 4500 世帯
支給額：3 万円／世帯＋こども加算 2 万円／人
（H18.4.2 以降生まれの児童を扶養している世帯）：550 人

〇土地改良区･水利組合電気料金高騰対策支援事業 74 万円

〇物価高騰対策支援商品券給付事業　　1 億 2491 万円

対象者：R6.12.13 時点で下野市に住民登録されている世帯。但し非課税世帯は除く。約 22,000 世帯
給付額：5,000 円（額面 1,000 円の商品券を 5 枚）
4 月中旬、世帯主宛に簡易書留で送付。
使用期間：商品券到着～ R7 年 8 月 31 日

《第 9 号》補正額：10 億 0560 万円を追加

【主な歳入】
〇地方交付税　　2 億 8661 万円
〇国庫支出金　　7 億 1552 万円
〇県支出金　　△ 1639 万円
〇寄附金　　7615 万円

ふるさと寄附金 7499 、教育費･民生費寄附 116

〇繰入金　　△ 5 億 8282 万円

財政調整基金△ 5 億 3400 、地域づくり事業推進基金△ 174 、公共施設整備基金△ 6200 、新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症対策資金借入金利子補給基金 1415

〇市債　　4 億 6230 万円

【主な歳出】
〇基金積立金　　1 億 8817 万円

財政調整基金 880 、減債基金 1 億 0569 、地域づくり事業推進基金 7219 、公共施設整備基金 146

〇グリーンタウンコミ･セン屋根修繕　　△ 3297 万円

外壁修繕も実施するため、R7 年度予算に改めて計上

〇障がい者給付事業　　2975 万円
〇障がい児給付事業　　1489 万円
〇子育て支援事業　　1235 万円

利用者増（病児･病後児保育委託料）

〇妊娠サポート事業（不妊治療費）　　208 万円
〇学校空調整備事業　　6 億 2952 万円

国補助金 空調設備整備臨時特例交付金 3 億 1341 万円

■刑法等の一部改正施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定

施行：R7 年 6 月 1 日～

刑法の改正点の一つに拘禁刑の創設がある。
刑事罰には懲役刑と禁固刑がある。
①懲役（刑事施設に拘置して所定の作業を行わせる）
②禁錮（刑事施設に拘置する）
これらを廃止して**拘禁刑**を創設（改正法第 12 条）
拘禁刑：刑事施設に拘置し、拘禁刑に処せられた者には、改善更正を図るため、必要な作業を行わせ、又は必要な指導を行うことができる。

このため、「禁錮」、「禁固」、「懲役」の表現がある下記の条例について、「拘禁刑」に改めた。
〇職員の給与に関する条例　〇消防団条例
〇行政不服審査条例

■市長等特別職･議会議員の期末手当、職員の給料･期末手当引上げ

国の人事院勧告に基づき、昨年度に続いて引上げた。
民間企業との較差を縮めるため、職員給料基本給は若年層に手厚く基本給を改定。（施行：R6 年 4 月 1 日）

(1)給料月額

概ね 30 歳台後半までの職員に重点をおきつつ、全ての職員を対象に給料表を改定
（**全体3.0 %**、1 級11.1%、2 級7.6%の引上げ）

(2)賞与

	改正前	改正後	比較
市長等、議会議員 特定任期付職員	3.40	3.45	0.05
一般職員 会計年度任用職員	4.50	4.60	0.10
再任用職員	2.35	2.40	0.05

＊職員は期末手当･勤勉手当ともに 0.05 月分引上げ

■国に則り、職員の働き方改革、4 つの条例を改正

〇職員の勤務時間、休日･休暇に関する条例
〇職員の職員の育児休業等に関する条例
〇定年延長制度の導入に伴う関係条例の整備条例
〇職員の配偶者同行休業に関する条例

【主な改正点】
- **対象となる子の年齢を拡大：**
「3 歳まで」⟶「小学校就学前まで」
- **柔軟な働き方を労働者が選択して利用できる措置：**
職員がどちらかを選択できる。①短時間勤務制度
②養育両立支援制度（10 日／年）
- **市は配偶者等が介護を必要とする状況に至った職員が 40 歳に達する年度までには当該職員に対して意向確認及び介護両立支援制度の周知を行わなければならない。**

何ともややこしい条例改正案だった。提案理由を聞いたときにはふむふむと分かったつもりだったが、いざ、書く段階では理解困難、根拠法は何か？ この報告は、曖昧な部分がありつつ、何とかまとめました。

■下野市消防団条例改正　（施行：R7 年 4 月 1 日）

機能別消防団員制度を導入

慢性化している消防団員不足を解消するため、消防団 OB 等による機能別消防団を置く。

(1)基本消防団員：機能別消防団員以外の消防団員

(2)機能別消防団員：特定の任務･活動に従事する団員

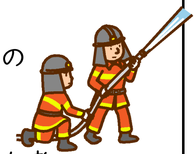
《業務内容》災害活動の後方支援
- 所属する分団が出動する火災の初期消火活動及び後方支援活動
- 所属する分団が出動する災害への応急活動
- その他、消防団長が特に必要と認める活動

※消防団が行う諸行事及び訓練等は原則参加しない

《入団要件》

①所属する分団の管轄区域内に居住又は勤務、かつ、直ちに出動できる者

②5 年以上の消防吏員又は消防団員の経験を有する者



③年齢 70 歳未満、

④基本消防団員は退職後 1 年経過した者

《出動手当》（報酬は無い）

災害(4 時間以上従事)：8,000 円／日

災害(4 時間未満従事)：4,000 円／日

R7 年度中に募集、R8 年度から運用開始予定

どれほどの方に応募していただけるだろうか？機能別消防団員の募集定員は消防団分団定数の3割まで(＝合計72人)としている。現在、条例上の消防団員定数は468人に対して不足している団員は76人と聞いた。
各人の事情があるでしょうが、自主防災の延長として活動していただけたらと願う。機能別消防団については、前総務常任委員会で要望した事項でもある。

■地域公共交通会議、空家等対策協議会の所管部署を変更するため、それぞれの条例を改正

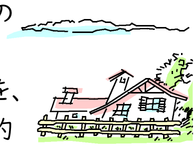
施行：R7 年 4 月 1 日

【変更理由】

●**地域公共交通会議**：まちづくり構想などの都市交通施策実現のためには、公共交通も含めた総合的な知見が必要であるため



●**空家等対策協議会**：空家対策としての予防･活用･リノベーションと、除却促進とに分かれて所管していた事業を、効率的かつ効果的に実施するため集約する。



どちらも市民生活部 ⇒ 都市建設部へ移管

かねてより、課題と感じていた件なので移管には賛成。
部設置条例施行規則では、市民生活部安全安心課は18項目にわたる所掌事務のうち、(13)公共交通に関すること、(16)老朽危険空家等の除去に関すること、(17)空き家等の適正管理に関すること、が都市建設部へ移管されることになる。

交通安全･交通指導員に関すること、自転車駐輪場の管理運営に関すること、福祉有償運送に関することは今まで同様に安全安心課が担うと理解した。
市民に不都合が生じないか、見届ける必要があると思う。

■土砂等の埋立て等による土壌汚染及び災害発生の防止に関する条例改正　（施行：R7 年 4 月 1 日）

宅地造成及び特定盛土等規制法(以下｢盛土規制法｣が R5 年 5 月に施行され、栃木県は盛土規制法に基づく宅地等工事規制区域及び特定盛土等規制区域を R7 年 4 月 1 日に指定し、運用を開始する。

これに伴い、下野市土砂等の埋立て等による土壌汚染及び災害発生防止に関する条例(以下､｢市土砂条例｣)の目的のひとつである災害防止と盛土規制法の制定目的が重複しているため、条例を整理し、改正した。

栃木県規制区域：宇都宮市を除く全域

下野市は**宅地等工事規制区域**に指定された。

※**宅地等工事規制区域**：市街地や集落、その周辺等で盛土が行われれば人家等に危害を及ぼしうる地区

特定盛土等規制区域：市街地や集落から離れているものの 、地形等の条件から盛土が行われれば､人家等に危険を及ぼしうる地区

【改正の概要】項目のみ

(1)災害発生防止関連規定の削除 (2)許可制度の改正
(3)土地所有者の同意、関連規定の改正 (4)特定事業の期間制限の廃止 (5)水質検査･地質検査の条項整理
(6)立入検査等対象者 (7)罰則の改正 (8)その他

（不明な点等は市民生活部環境課(TEL32 － 8898)へ）

《発議：議員提案》

◆**｢有機フッ素化合物による地下水汚染への対応を求める意見書｣の提出について**（全会一致で可決）

提出者：議会運営委員会委員長 秋山幸男議員

賛成者：伊藤陽一･貝木幸男･大島昌弘･小谷野晴夫･村尾光子の 5 議員

地下水･市水道浄水の PFAS 汚染が判明した直後から、市長始め執行部は迅速に対応した。その支援となるよう、議会としても県･国への意見書を提出することとした。

【要望事項】

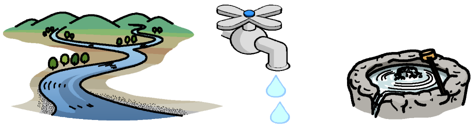
1 健康への影響について、国が主体となって調査を行い、健康リスクを明確に示すこと。

2 環境への影響や農作物への影響について、最新の科学的知見を踏まえて、飲料や日常生活及び農業等事業活動など用途ごとの使用制限を早期に示すこと。

3 有機フッ素化合物問題の解決に向け、国、県との連携を強化するとともに、市が実施する対応策について、財政的支援をすること。

【提出先】

衆･参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣、国土交通大臣



村尾光子の
一般質問

代表質問を引き受け、通告書を提出時に事務局で確認したら、残り時間は19分!! 2項目目の質問は取りやめた。一年間の質問持ち時間は160分。以前のように会派代表質問は別枠でのカウントに戻して欲しい・・・



水道水PFAS汚染の汚染源究明、及び長期的な対策について伺う

R6 年第 3 回定例会で、全国的に米軍基地や自衛隊駐屯地、化学工場周辺で地下水や河川から PFAS（有機フッ素化合物)が暫定目標値を超えて検出されていることに鑑み、本市は大丈夫か？との思いで、質問した。地下水の入念な水質検査を要望した。

嫌な予感を抱いていた通りに、年明け早々に陸上自衛隊宇都宮駐屯地周辺と下野市の井戸水、本市は水道水浄水からも暫定目標値を超えた PFAS が検出された、との報道があった。どう対応するのか、切羽詰まった気持ちで質問通告をした。

一方、市の緊急的対応は早かった。市長始め、職員の皆様がご苦労なさったことには敬意を表する。

今回は、施設整備も含め長期的にはどうするのか、質した。

(1)マスコミ報道によると、本市北部が隣接する陸上自衛隊宇都宮駐屯地周辺では、個人の井戸数カ所から暫定目標値を超えたPFASが検出されたとのこと。また、この北部には陸上自衛隊北宇都宮駐屯地も存在する。

昨年第3回定例会でのPFASに関しての質問では、自衛隊宇都宮駐屯地でのPFAS所蔵・処理に関して、「令和4年度中に処理した」との答弁であった。処分に至るまでの使用実績、処分方法については確認できないか。

【坂村市長】 防衛省･自衛隊では、「防衛省 PFAS 処理実行計画」に基づき処分している。

2 月 13 日に宇都宮駐屯地に確認したところ、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律により規制対象となった H22 年 4 月以降、宇都宮駐屯地における訓練や実火災での使用実績は無く、部外への流出事案もない。規制以前の使用実績については今後調査を行い、処理方法については現在確認中」との回答だった。

市としては、県や関係機関と連携して、自衛隊に対して駐屯地内の水道水及び水源井戸の水質検査結果とともに、規制以前の PFAS 使用実績や処理方法についても公表するよう要請する。

隣接する宇都宮市でも井戸水の PFAS 汚染が発生しており、広域的な対応が必要と考えた。また、自衛隊は国の機関であり、国への働きかけも必要。

(2)汚染発生源を確定しなければ市民の不安は解消できず、対策も講じようがない。県、国へ汚染源調査を要請すべきではないか。

質問通告書は締切り日の 2 月 12 日に提出した。この日、市長は県知事を訪問し、汚染源究明を含めた支援要請をしていた。更に 2 月 19 日には国に出向いての要請も行った。素早い行動に敬服！緊急対応も素早かった!!

通告したが、この件の答弁は求めなかった。

(3)新たな水源井戸水を増設するとのことだが、どこに設置するのか。

石橋第2配水場付近には岩盤があり、水源井戸の深さは60～70mと聞いた。また、この地域は宇都宮市大谷から続く宝木台地上にあり、地下水は北から南へ流れているとも言われている。汚染拡大防止のためには、石橋第2配水区域内に水源井戸を設けるのは適切ではないと思われる。

水道施設整備について、次の提案をする。

①石橋第2配水場を廃止して第1配水場に統合する。

②上三川町から浄水又は原水の提供を受ける。

③南河内地区に水源井戸を設置する。

これらを検討すべきではないか。

【坂村市長】 新たに設置する井戸は、石橋第2配水場から北西へ約1.2Km離れた市道2-1号線沿いの道路敷地内を予定している。この場所は姿川に近接する低地部に当たり、同じような地形上にある石橋第9号水源、石橋第10号水源では、それぞれ日量1,440トンの取水実績がある。これを考慮すると相当量の取水が可能と考えられる。

3/17 議員全員協議会資料から抜粋



《石橋第2配水区域(部分)》　**青線**は市上水道配水管



石橋第２配水区には、現在、水源井戸が３基あるが取水量は合計で日量 1,560 トンなので、新たな井戸を設置することで、現行の複数の井戸が取水不能になった場合でも、十分な水量が確保できると期待している。

新たな水源井の設置に際しては、PFAS はもとより、水道法に定める水質基準を十分に満たす安全な水源を選定することが重要である。早期供用開始に向けて進める。

石橋第2配水区内に井戸を新設する計画は以前からあり、早期に実施することとした。この工事には井戸掘削ほか、予備発電機、導水管敷設等約3億円を要する。
新設井戸予定地の南東約600mに位置する農業用井戸7号の水質検査では、PFOS･PFOA、全ての検査項目で基準値内との報告だった。
地下水も流れている。2月12日採水時では良くても、この先はどうか?新設井戸の運用開始はR8年3月を目指している。それまでの間、農業井戸7号も継続的に水質の監視をして欲しい。
「上三川町地内に井戸を掘らせてもらったら」、という声も聞いた。思い及ばなかったが、宇都宮市は今市に浄水場を設置している。



（村尾の）提案事項については、

①第２配水区内の給水量を確保するためには新たな井戸掘削や導水管整備、更に第２配水区までの配水管敷設、送水のためのポンプ設備等が必要となり、相当な期間を要する。

②上三川町のご協力が頂ければ、比較的短期間で工事を行うことは可能だが、現在進めている試算では、双方の現況管路の状況から、カバーできる範囲が第２配水区域内の一部に限定されると考える。

そのため、第２配水区の大部分をカバーするためには、より供給能力のある宇都宮市からの浄水供給をお願いすることも必要と考える。

③南河内地区への水源井戸設置については、水源・ポンプ設置に加え、第２配水場までの 10Km 程度の導水管整備が必要となり、この間には鉄道や国道の横断工事を伴うことから長期間を要すると想定される。

以上のことから、①、③は技術的に難しく、長期間を要することから現実的ではない。②は上三川町に加え宇都宮市から浄水提供を受けることは、現実的かつ即効性があるので、早期に実現できるよう両市町の理解･協力を頂けるよう協議を進める。

水道事業には水質だけではなく、施設の老朽化に加え地震や台風、豪雨などの自然災害、技術者の人材不足、人口減少に伴う水道収益減少など、多岐にわたるリスクに常に晒されていることを自覚しなければならない。

今回のような水質問題に関しては、水源を多様化することは重要な施策であり、特定の水源に依存せず、複数の水源を持つことで、自然災害や環境の変化にも柔軟に対応できるものと考える。地下水や河川水などの多様な水源を活用し、それぞれの特性に応じた適切な管理を行うことにより、安定した水質が保たれると考える。　　　　（下線挿入は村尾）

水源の多様化には地域住民の協力も不可欠となる。地域住民が参加する水源保全活動や啓発活動を通じて、水資源の大切さを理解し、ともに守っていく意識を醸成することが重要であると考えている。

(再質問)多様な水源を確保する、ということは、思川開発関連の河川水を示唆しているのか。

【坂村市長】前回の質問で答えた通りである。
一刻も早く、地域住民が願っている安心できる安全な水を届けたい。そのためにあらゆる方法を検討しなければならないと思う。

通告していないが、市長は河川水について言及した。県南広域的水道整備事業については「前回の答弁と同じ」。であるなら、R5年第3回定例会での一般質問への答弁かな?「県からは建設費など新たな試算値は示されておらず、2市1町は必要水量も示していない。試算できない。慎重に判断する」だった。これは変わらないね。

《下野市の水道水PFAS汚染問題への対応》

【石橋第2配水区の概要】
区域内面積：約 4.5Km^2 、区域内人口：約 3,600 人
区域内世帯数：約 2,000 世帯
区域内事業所数：109 事業所

《水質検査結果を受けての対応》

水質検査結果(浄水)（暫定目標値 PFOR･PFOA：50ng/L）

採水日	3/3	3/6	3/10	3/13	3/1	3/21	3/24
若林公園	61	61	55	66	52	58	55
上古山農村公園	59	53	57	56	65	56	60

（単位：ng(ナノグラム)／L)

＊最初に浄水の暫定目標値超を確認したのは１月 20 日
＊以後の水質検査：浄水週１回、原水月１回実施

(1)井戸新設工事の状況
R6 年度：掘削工事
R7 年度：設備･導水管工事
（R8 年３月運用開始目標）

(2)石橋第２配水区から第１配水区への切替え
１月 31 日：県道羽生田-上蒲生線沿約 50 戸実施
３月４日：　同上約 26 戸切替え

(3)上三川町との連携管状況
２月 14、18 日：上三川町既設水道管水圧測定、測定結果を基にシュミレーション実施
供給可能エリア：国道４号線を挟んで下野警察署の西側、約 42 戸、約 84 m^3／日

(4)その他
・宇都宮市との連絡管接続協議：今後具体的に協議
・(配水場への)浄化施設の検討：業者との協議中
― 参考　市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ、議員全員協議会資料から ―

【行動記録】　太字は議員としての公的活動

12/20 ～ 1/16　村尾市議会報告 No77 編集･印刷作業

【1月】
10　**賀詞交換会**
12　**二十歳のつどい**（南河内公民館）
13　**天平マラソン大会開会式**
30　とちぎ地域自治研究所理事会（Zoom）

【2月、3月】
2　会派下野市民派クラブ有志による｢議会報告＆意見交換会｣（石川 浩･加藤好雄･村尾の３議員）
3　**第4回国民健康保険運営協議会**
4　**議会運営委員会／議員全員協議会／政策検討会議**
5　**教育福祉常任委員会**
8　**市議会主催｢議会報告と意見交換会｣**
10　県南地域の地下水をいかす市民ネット｢南摩ダム視察｣（鹿沼市）／運営委員会（宇都宮市）
11　第 29 回在宅ケアネットワーク栃木＆第 3 回在宅医療推進フォーラム（Zoom）
14　**議会運営委員会／議員全員協議会／議会活性化特別委員会**／会派代表へ執行部からの説明／会派代表質問について執行部からの取材
17　会派下野市民派クラブ連絡会

2/21 ～ 3/19　**市議会第1回定例会**
21 、25 ～ 28 、3/19　**本会議**
2/21　**政策検討会議**
2/26　**村尾会派代表質問**
2/28　**村尾総括質疑**

3/4 、5　**教育福祉常任委員会**
6 、7　経済建設常任委員会傍聴
10 、11　総務常任委員会傍聴
17　**政策検討会議／議会運営委員会／議員全員協議会／議会活性化特別委員会／教育福祉常任委員会(補足説明)**

3/1　下野つばさの会
9　**オープンキンボール大会開会式**（石橋体育センター）
11　**南河内第二中学校卒業式参列**
13　成年後見人制度利用促進協議会傍聴
14　会派下野市民派クラブ連絡会
15　**認定こども園野ばら幼稚園卒園式参列**／インクルーシブ教育研究会｢子どもを｢分けない｣学校―日本のインクルーシブ教育システムへの提言｣豊中市立南桜塚小学校校長橋本直樹氏、支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ中田崇彦氏（Zoom）
18　**祇園小学校卒業式参列**
20　御鷲山古墳発掘調査説明会
22　水道水市民ネット運営委員会
23　天平の桜歌会･中学生平和派遣報告会／石橋高校歴史研究部研究報告発表会
26　県南地域の地下水をいかす市民ネット運営委員会（宇都宮市）



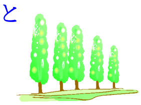
3/22 ～ 25　議会だより No76 原稿作成
3/25 ～ 4/17　村尾議会報告 No78 編集･印刷作業

持ち時間の関係から、通告書から削除した質問について後日、健康福祉部長、社会福祉課長から説明を受けた。

(問)民生委員への高齢者名簿提供について、民生委員協議会との協議結果はどうであったか。

(説明)民生委員協議会では、地区毎に民生委員へのアンケートを実施した。その結果、希望者には高齢者名簿を提供し、閲覧も可能とした、とのこと。
長い間、行政へ働きかけをしてきた民生委員の方々、漸くでしたが、理解が得られて良かったですね！

～あれこれ～ ■かねてより整備を進めていたしもつけ産業団地はR6年度で整備事業が完了した。分譲募集は、6区画すべて内定したと聞いた。これから拡張事業を進めようと言う時に、幸先のよい、弾みがつくようだ。一方、農地が、山林が消失するのでは、と複雑な想い。開発には25％以上の緑地保全が条件のようだが、自然林を残せるのだろうか？



■昨年度の委員会改選により役職を離れたので、今年はかなり時間的余裕ができたはずなのに、文章書きがなかなかはかどらない。何故だろう･･･？書きたいことの主旨が定まらない、文章の構成がまとまらない、書くための根拠となる資料を探すのに時間がかかる。そう、これです。毎回痛感しているが、探し物に時間がかかることが大きな要因、整理が致命的に下手！なのだ、と自覚している。でも、直らない･･･。「聡明な女は整理がうまい」なんて、どなたか言っていなかったかしら？



■そうとばかり言えない事態が起こった。パソコンが壊れた！ようだ。突然、画面上にチラチラと光線が走り、パッと画面が消えてしまう。暫く待っていると画面が復活する。いくら待っても復活しないときには、電源を切り、再び立ち上げる。この報告書を書いている最中、入力した情報が消えてしまわないかとヒヤヒヤし通しだった。ようやく最終ページに辿り着いた。
結局買い換えることにして、目下、夫に初期設定をお願いしている。日々、パソコンが必須なのに、情けないが、この分野では夫への依存度100％、感謝している。それにしても、大きな出費だった。
■長年、一輪しか咲かなかったストレリチアがこのシーズンは二輪咲いた。かなり虐げられていたのに、嬉しかった。健気だねと感動した。でも、コーヒーの木は寒さ対策が間に合わず、枯れてしまった。長年、保有していたハイビスカスは生気がなく“風前の灯火”状態になってしまった。可哀想なこと。
一方、手入れもせず放置したままだった庭からフキノトウ5個を収穫した。今年はもっと獲れるはず、と期待していたのだけれど、放置したからかな。今日は、野生化した三つ葉の若芽を摘んで卵とじのおすましに。美味しかった。時間と気持ちのゆとり、そして体力があれば、もっと自然を満喫することができるのに。■4月12日のドイツ･ディーツヘルツタール姉妹都市締結50周年記念コンサートには、楽しみにしていたのに行けなくて残念だった。この報告書の原稿書きの見通しが立たなかったから。自業自得です。昔、短期間だったけどドイツに住んだことがあり、郷愁を感じる。■水道水のPFOR/PFOAの状況は 3/31採水調査結果は若林公園、上古山農村公園ともに59ng/L (4/15記)

